



いわしろさくらこども園運動会

平成30年度決算審査 … P.2～3
定例会概要 …… P.4～5
一般質問・討論 …… P.8～13

平成30年度決算を認定しました

9月定例会では、平成30年度各会計決算を審査する決算審査特別委員会を設置しました。「市の予算が適正に使われたのか」「効率的に行われているのか」「事業の成果は」など、平成30年度の重点施策を中心に審査し、その結果、全議案「認定すべきもの」として本会議に報告しました。審査の主な内容を紹介します。

児童相談の充実

問 家庭児童相談員の4名の配置はどうなっているか。また、どういう資格の方が担っているのか。

答 二本松・塩沢地区、岳下・杉田地区、石井・大平・安達地区及び岩代・東和地区の4地域に分けて、各1名が担当している。また、資格は、学校教育法に基づく大学等で児童福祉、社会福祉、心理学、教育社会学等を修めた者、または、社会福祉主事で2年以上児童福祉に従事した者、またはそれに準ずる者で、現在は、教員経験者や市職員OBが務めている。

ジェネリック医薬品の普及促進

問 ジェネリック医薬品利用差額通知を実施したことによる効果はどうだったのか。

答 ジェネリック医薬品に切り替えを行うことにより、自己負担額が100円以上減額すると見込まれる方を対象に年2回、差額通知の発送を行ったものであり、効果については、平成30年2月から平成31年1月までの医薬品数量での使用率は75.9%で、軽減効果額は、保険者（国保）負担額と自己負担額を合わせて194万780円だった。

合戦場のしだれ桜周辺整備事業

問 駐車場整備工事が計画が、当初より変更となった原因は何か。また、全体工事費としては予定どおり執行できたのか。

答 目的とした市有地の有効活用と渋滞緩和は達成できており、効果的であったと考えている。しかし、当初の予定になかった遺跡が出たということもあり、盤の高さについての変更を余儀なくされた。また、のり面が高くなったことから、安全対策としてガードレールの設置が必要となった。最終的には、当初の4,000万円から2,600万円まで全体工事費を削減でき、経費節減を図りながらも最大限必要な部分の整備を行った予算執行であったと捉えている。

意見 事業計画にあった100台分の駐車場が完成できなかったことは、事業効果が十分にあらわれていないと判断される。事業計画段階で、下調査をしっかりと行い、もっと慎重に事業を進めていくべきであったのではないかと。昨年9月の補正予算成立後に、計画が変更になった時点で、委員会に対する説明がなかった。もう少し、議会に対する説明責任を果たすべきである。



合戦場のしだれ桜周辺に整備された駐車場



決算審査特別委員会全体会の様子

議案などを専門的、合理的、能率的に審査する常設の常任委員会のほかに、特定事件を審査するために特別委員会を設置することができます。

英語指導外国青年招致事業

問 ALTの英語の授業以外での活動の場については、どのように考えているのか。

答 総合的な学習の時間における国際理解に関する活動を実施している中学校もあるが、直接ALTがかかわっていないため、勤務日の調整が必要である。また、事業の目的に、地域の国際化の推進とあるが、現時点では地域貢献や生涯学習などの場で生かされる場面は少ないと考える。地域の方とかわりをもちたいという意欲のあるALTもあり、教育委員会としても機会の提供などしていきたい。

意見 今後、英語力の習得が必須となることから、ALTを増員し、充実を図るべきである。



教壇に立つ英語指導助手のエイリーさん

平成30年度各会計の決算額

一般会計及び特別会計

(単位：円)

会計別		歳入	歳出	
一般会計		32,892,201,284	31,232,398,063	
特別会計	国民健康保険 事業勘定	5,956,260,736	5,806,458,018	
	国民健康保険 直営診療施設勘定	99,736,513	99,251,249	
	後期高齢者医療	617,347,403	615,348,534	
	介護保険	保険事業勘定	6,158,422,787	5,853,665,524
		介護サービス事業勘定	18,561,812	18,136,755
	土地取得	235,555,758	235,555,758	
	公設地方卸売市場	9,533,126	5,730,911	
	佐勢ノ宮住宅団地造成事業	9,617,000	9,617,000	
	岩代簡易水道事業	102,026,245	101,907,546	
	東和簡易水道事業	366,500,818	358,651,916	
	安達下水道事業	246,427,032	246,427,032	
	岩代下水道事業	79,365,424	79,341,126	
	茂原財産区	1,384,143	1,110,065	
	田沢財産区	276,966	206,044	
石平財産区	2,184,671	2,010,549		
針道財産区	236,518	83,149		
合計	46,795,638,236	44,665,899,239		

企業会計

(単位：円)

工業団地造成事業		収入	支出
収益的収支		0	—
資本的収支		702,156,723	702,501,487
宅地造成事業		収入	支出
収益的収支		89	—
資本的収支		—	—
水道事業		収入	支出
収益的収支		1,073,736,593	893,925,134
資本的収支		351,037,422	712,345,150
下水道事業		収入	支出
収益的収支		658,597,179	653,909,349
資本的収支		80,023,008	354,407,553

移住・定住の推進

問 事業の成果は。

答 田舎暮らし体験ツアーに9人参加し、そのうち2人が移住した。その他の県外からの移住者も含め、合わせて11件13人の移住を把握している。

意見 田舎暮らし体験ツアーは大変人気がある施策で評判が良く、移住・定住の実績もあるため、なお一層の拡充を図るべきである。



平成30年度に移住したドカーティ夫妻

道路照明整備事業

問 LED街路灯の整備内容は。また、要望によるものは、どのように対応したのか。

答 当初整備予定のLED街路灯については翌年度に繰り越し、灯具は全てリース事業の中で整備をしていて、令和元年6月からリースを開始したところである。なお、要望等で追加した街路灯の中にはリース事業での管理ではなく、市の直接管理で設置している部分もあるが、平成30年3月までに要望のあった分はリース事業の中に組み込んで一括して整備を行った。

生活道路整備費補助事業

問 申請された方全員が事業を実施できたのか。

答 申請があった方は全て対応ができた。

意見 延長の長い道路もあり個人負担が高額になる方もいるため、それぞれの要件に応じて補助率を上げるべきである。

インバウンド誘客促進事業

問 モニターツアー参加者の内容は。

答 参加者の国別では、オランダが2名、オーストラリアが1名、アメリカが3名、中国が1名及び台湾が5名の合計12名であり、福島県に来訪経験がない方が対象だった。

市長提出議案は43議案

平成30年度各会計決算の認定、 連携中枢都市圏形成に係る連携協約の締結 に関する協議についてなどを可決

令和元年9月定例会では市長提出議案43件を審議し、全議案を原案どおり認定、可決及び同意しました。

郡山市と二本松市との連携中枢都市圏形成に係る連携協約の締結に関する協議については、審査の中で「広域連携中枢都市圏形成の背景は」との質疑に対し、「人口減少、高齢化社会が進んでおり、将来的に人口の少ない自治体において十分な住民サービスを行うことが難しくなると懸念されている。連携によるスケールメリットにより、住民サービスの向上や活力ある社会経済の推進を図っていききたいとの考えによるものである。」との説明がありました。市民や議会の意見が反映されるように進めてほしいとの意見もあり、審議の結果、全会一致で可決しました。

議案第95号 令和元年度一般会計補正予算

二本松城跡総合整備事業発掘調査費の増など 一般会計補正予算案を可決

二本松市のシンボルである二本松城跡整備のための発掘調査(3,550万円)や、7月24日の集中豪雨被災箇所の災害復旧に要する経費(1億4,160万円)などを計上した補正予算で、全会一致で可決しました。

その他補正予算の主なもの

- 井戸ボーリング工事費補助金の増 1,500万円
- 高齢者等のごみ出し支援負担金の増 224万円
- 道の駅等屋外喫煙所設置工事費の増 1,731万円
- 芝生広場整備基本設計等業務委託料の増 1,400万円



二本松城跡発掘調査(現地説明会)の様子

石平財産区管理委員の選任を同意

大内 一郎さん(新任) 菅野 興さん(新任) 武藤 弥作さん(新任)
大内 孝吉さん(再任) 高野 競さん(再任) 武藤 仁さん(新任)
佐久間秀雄さん(新任)

針道財産区管理委員の選任を同意

中川 昭治さん(再任) 服部 征洋さん(再任) 菅野 喜丈さん(再任)
菅野幸三郎さん(再任) 佐藤 一男さん(再任) 菅野 市雄さん(新任)
高橋 賢樹さん(再任)

人権擁護委員候補者の推薦

渡邊 一郎さん(本町・再任) 渡邊 公子さん(八坂町・再任)

○市長提出議案とその審議結果

議案番号	件名	結果
第 61 号	平成30年度二本松市一般会計歳入歳出決算の認定について	原案認定
第 62 号	平成30年度二本松市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定
第 63 号	平成30年度二本松市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定
第 64 号	平成30年度二本松市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定
第 65 号	平成30年度二本松市土地取得特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定
第 66 号	平成30年度二本松市公設地方卸売市場特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定
第 67 号	平成30年度二本松市佐勢ノ宮住宅団地造成事業特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定
第 68 号	平成30年度二本松市岩代簡易水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定
第 69 号	平成30年度二本松市東和簡易水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定
第 70 号	平成30年度二本松市安達下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定
第 71 号	平成30年度二本松市岩代下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定
第 72 号	平成30年度二本松市茂原財産区特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定
第 73 号	平成30年度二本松市田沢財産区特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定
第 74 号	平成30年度二本松市石平財産区特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定
第 75 号	平成30年度二本松市針道財産区特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定
第 76 号	平成30年度二本松市工業団地造成事業会計決算の認定について	原案認定
第 77 号	平成30年度二本松市宅地造成事業会計決算の認定について	原案認定
第 78 号	平成30年度二本松市水道事業会計未処分利益剰余金の処分及び決算の認定について	原案可決及び認定
第 79 号	平成30年度二本松市下水道事業会計決算の認定について	原案認定
第 80 号	郡山市と二本松市との連携中枢都市圏形成に係る連携協約の締結に関する協議について	原案可決
第 81 号	二本松市森林環境整備基金条例制定について	原案可決
第 82 号	二本松市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例制定について	原案可決
第 83 号	地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例制定について	原案可決
第 84 号	二本松市職員の分限に関する手続及び効果に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
第 85 号	二本松市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
第 86 号	二本松市職員等の旅費に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
第 87 号	二本松市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
第 88 号	二本松市税条例等の一部を改正する条例制定について	原案可決
第 89 号	二本松市駐車場条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
第 90 号	二本松市印鑑の登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
第 91 号	二本松市災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
第 92 号	二本松市準用河川流水占用料等徴収条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
第 93 号	二本松市営住宅設置条例及び二本松市営住宅管理条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
第 94 号	二本松市水道条例等の一部を改正する条例制定について	原案可決
第 95 号	令和元年度二本松市一般会計補正予算	原案可決
第 96 号	令和元年度二本松市国民健康保険特別会計補正予算	原案可決
第 97 号	令和元年度二本松市後期高齢者医療特別会計補正予算	原案可決
第 98 号	令和元年度二本松市介護保険特別会計補正予算	原案可決
第 99 号	令和元年度二本松市公設地方卸売市場特別会計補正予算	原案可決
第100号	令和元年度二本松市茂原財産区特別会計補正予算	原案可決
第101号	二本松市医師確保対策修学資金貸与条例制定について	原案可決
第102号	二本松市石平財産区管理委員選任の同意について	原案同意
第103号	二本松市針道財産区管理委員選任の同意について	原案同意

○委員会提出議案とその審議結果

議案番号	件名	結果
第 5 号	令和2年度及び復興・創生期間後も「被災児童生徒就学支援等事業」の継続と被災児童生徒の十分な就学支援を求める意見書の提出について	原案可決

○請願とその審議結果

受理番号	件名	結果
第 6 号	安達東高校の統合化に対する新たな提案提出を求める意見書の提出について	趣旨採択
第 7 号	「ふくしま学力調査」中止の意見書提出を求める請願書	不採択
第 8 号	「令和2年度及び復興・創生期間後も国の『被災児童生徒就学支援等事業』の継続と被災児童生徒の十分な就学支援を求める意見書」の提出を求める請願書	採択

常任委員会の審査報告

総務市民常任委員会

一般会計補正予算等について

○郡山市と二本松市との連携中枢都市圏形成に係る連携協約の締結に関する協議について

問 連携中枢都市圏形成の背景は。

答 人口減少、高齢化社会が進んでおり、将来的に人口の少ない自治体において、十分な住民サービスを行うことが難しくなると懸念されている。連携によるスケールメリットにより、住民サービスの向上や活力ある社会経済の推進を図っていききたいとの考えによるものである。

意見 協議の中で、市民や議会の意見が反映されるように進めてほしい。

○令和元年度二本松市一般会計補正予算

問 道の駅安達上り線、道の駅ふくしま東和及び道の駅さくらの郷の屋外喫煙所設置工事について、どのような喫煙所を計画しているのか。

答 屋根無しのパテーション型で、高さは2.4m、縦3m、横3mの9㎡、入口のクランクが3㎡の施設を予定しており、特別交付税の対象とな

るよう計画している。なお、3ヵ所とも同じ仕様である。

意見 屋外喫煙所設置工事については、別の構造についても比較検討し、安価でより効果のある喫煙所を設置して、受動喫煙防止を達成してほしい。



机上審査の様子

産業建設常任委員会

森林環境整備基金条例制定、一般会計補正予算等について

問 森林環境整備基金を活用した今後の森林整備について、来年度から実施する森林所有者への意向調査は、市内全域が対象か。また、どの地域から始める計画となっているか。

答 基金の中で対応できるように、地域の優先順位と取り組むべきエリアを厳選していく。どの地域から始めるかは現在未確定であるが、ふくしま森林再生事業の進捗と合せて、バランスを考慮しながら進めていきたい。

問 ため池等放射性物質対策事業について、最終的な実施箇所数と今年度中の実施見込みは何箇所か。

答 詳細調査等を進めた結果、今現在47箇所の実施を予定しており、今年度は当初予算での計画どおり、12箇所を実施する予定である。

問 生活用水確保対策事業について、現在準備中の

28件の完了見通しは。また、これから申請される分は再度補正することになるのか。

答 年度内に完了の見通しである。今回の補正にあたっては、現在不足している分に今後見込まれる申請分を加えているが、更に補正額を上回る事態となった場合には、再度補正をお願いすることになる。



現地調査の様子（災害復旧事業）

9月5日に付託された各議案は、9月9日から9月11日に各常任委員会で詳細な審査が行われ、最終日9月24日の本会議で、各常任委員長から審査の経過と結果が報告されました。各常任委員長から報告された審査の主な状況をお知らせします。

文教福祉常任委員会

一般会計補正予算等について

○令和元年度二本松市一般会計補正予算

問 芝生広場整備事業について、岩代地域の杉内多目的運動広場をサッカー場とするとのことだが、どのような整備をするのか。

答 サッカー場は、人工芝で2面整備する計画である。

○二本松市医師確保対策修学資金貸与条例制定について

問 修学資金貸与にあたり、保証人はどのような規定になるのか。

答 詳細は、条例の施行規則で定めることになるが、2名で考えている。2名のうち1名は親族から選んでいただくが、もう1名は、独立の生計を営み、かつ修学資金返還の責めを負うことができる資力を有する方とする予定である。なお、返済能力をどう確認するのかについては、その他市長が必要と認める書類という添付書類の項目を設

け、所得証明等の提出をいただき、確認する予定である。



机上審査の様子

議会映像をライブ中継 (生放送)しています！

二本松市議会ウェブサイトにおいて本会議の映像をライブ中継で配信しています。

また、議会ウェブサイトでは、その他次の情報をご覧ください。

- ・市議会のしくみ
- ・議員名簿
- ・議会中継
- ・会議日程・結果
- ・委員会（行政視察報告）
- ・市議会だより
- ・会議録
- ・議長交際費
- ・政務活動費
- ・請願・陳情
- ・議会報告会



令和元年第5回（8月）臨時会

8月臨時会は、8月21日に開催されました。提出議案は、いずれも本年10月1日から実施される「幼児教育・保育無償化」に関連する3件で、審議の結果、全て全会一致で原案可決しました。

◎二本松市保育所条例の一部を改正する条例制定について

・子ども子育て支援法の一部を改正する法律等の施行に伴い、公立の保育所、幼稚園及び認定こども園の給食費について、所要の改正を行うもの。

◎二本松市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営の基準に関する条例の一部を改正する条例制定について

・国の特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準の一部改正に伴い、所要の改正を行うもの。

◎一般会計補正予算

・主に無償化実施のために新たに必要となる経費等を措置するもの。



一般質問

市の明日を考える!

9月定例会の一般質問は、9月5日、6日及び9日の3日間にわたって行われ、14人の議員により、活発な議論が展開されました。
主な質問について、各議員から寄せられた原稿を原文のまま掲載します。



質問者ごとにQRコードを掲載しています。

スマートフォンなどで読みとっていただきますと、録画映像をご覧くださいます。

[発言順]



加藤 建也

[無所属]

2020年東京オリンピック・パラリンピックの 聖火リレーが二本松市を通らない理由は

問 なぜ、二本松市が聖火リレーコースから外されたのか。

答 県内7方部のバランスや、津波被災地及び原発事故による避難地域、オリンピックゆかりの市町村などを考慮し、「国際オリンピック委員会」の承認を経て決定された。本市が聖火リレーのコースから外れたことは大変残念であり、6月1日の公表を受け、直ちに市長自ら県庁に赴き、再考を求める要望を県知事宛に行ったが受け入れられなかった。今後は、全ての市町村が

関わることでできる県のリレーイベントへの積極的な参加など、機運醸成に向けて全力で取り組んでいきたい。

問 聖火リレーが二本松市を通らないのであれば、市独自の記念体育祭などを考えられないか。

答 独自の取組みとして、オリンピックの機会を捉えて市民全体で機運を盛り上げ、オリンピックが終わった後でも心の中に残るものを市独自または近隣市町村と協力しながら実施することも含めて検討していく。

ふるさと納税の運用は

二本松駅南開発計画は



坂本 和広

[真誠会]

問 直近5年分のふるさと納税受納額は。

答 平成26年度1,335万円、平成27年度862万円、平成28年度672万円、平成29年度1,112万円、平成30年度1,708万円である。

問 他市へのふるさと納税を差し引いた収支額は。

答 平成26年度+634万円、平成27年度-1,477万円、平成28年度-2,308万円、平成29年度-3,135万円、平成30年度-3,014万円だった。

問 ふるさと納税ポータルサイト（募集の窓口）

利用の効果について伺う。

答 平成29年度11月よりポータルサイトの利用を開始し納税額が平成30年度に596万円伸びたことから、十分に効果があったと分析している。

問 二本松駅南口改札設置の計画は。

答 今現在の跨線橋を車椅子対応のエレベーターを備えた幅員の広い自由通路に架け替えを予定し、駅の南北往来の利便性を向上させる計画としている。



佐久間 好夫

[真誠会]

高齢者公共交通運賃無料化による乗車状況は

仮設焼却施設の稼働は順調か

問 本年度から実施された高齢者の公共交通運賃無料化によるコミュニティバス利用状況は。

答 本年4月から7月までで4,054人で、前年度対比3.7%の増加となり、感謝の意見もいただいている。自宅からバス停までが遠いとの声もあるが、バス停以外での乗降も可能である。

問 生活保護行政の充実は図られているか。

答 現在市では、法に基づく適正な人数の職員を配置し、社会福祉協議会等各種機関と連携し、生活困窮者の相談に適切に対応している。

問 県道の立木伐採、除草及び舗装について伺う。
答 県二本松土木事務所では原町・二本松線の立木伐採並びに除草作業は年2回業務委託で実施しているが、安全対策のため県に要望する。舗装の修繕については、太田若宮地内を含め県に現地確認を依頼したところである。

問 仮設焼却施設は順調に稼働しているのか。

答 現在は安全対策を図りながら順調に稼働しているが、万一不具合等発生時は防災行政無線で情報提供する。

本市の教育は

地域おこし協力隊員の起業、事業化の支援は



安齋 政保

[市政会]

問 コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）とは、どのようなシステムなのか。

答 学校と保護者や地域の皆さんがともに知恵を出し合い、学校運営に意見を反映させることで、協働で子供達の豊かな成長を支え、「地域とともにある学校づくり」を進めるものである。

問 本市として取り組む考えはあるのか。

答 本市は全小・中学校に学校評議員制度を設け、貴重なご意見をいただいております。現在他市町村で行われているコミュニティ・スクールの実

施状況を見ると、学校・保護者・地域等の負担が大きいためとの声もあり、本市のコミュニティ・スクールの設置趣旨が生きるシステムの構築を図っていく。

問 和紙伝承館の協力隊員（紙漉き）の支援策は。
答 協力隊員の意向確認も必要だが、3年間で培った和紙漉き技術や活動実績を生かしながら、二本松市に定住していただき、期間満了後も和紙伝承分野で活躍できるように本人と株式会社二本松市振興公社と協議しながら検討する。



石井 馨

[無所属]

小中一貫教育の導入を検討すべきでは

結婚の推進を図っていくべきでは

問 小中学校9年間の課程で、いわゆる中一ギャップ対策を含め、児童生徒の多様な個性を伸ばす意味で小中学校の垣根を超えた小中一貫教育の導入を検討すべきではないか。

答 今年度、幼保と小中学校接続のあり方を担当する指導主事を採用し、児童生徒の発達段階に応じた指導助言を行っている。中一ギャップについては本市ではその傾向はみられないが、一貫した教育課程と学習環境を提供していくことが大切と考えているので、今後「適

正規模等調査検討会」で検討していく。

問 結婚の促進を図っていくうえで、お世話役の活動が重要と思うが、今後増員と報酬の引き上げの考えは。

答 お世話役の活動で平成27年度から現在まで4組の成婚となっている。お世話役については、現在16名に委嘱しているが、今後25名から30名に増員していく。成婚報酬は、平成29年にそれまでの5万円から10万円に倍増したので当面このままでいく。

東京オリンピックでの聖火リレー参加は

スカイピアあだたらのパークゴルフ場建設は



平栗 征雄

[市政刷新会議]

問 聖火リレーコースから市が外れた時点での参加の働きかけと将来を託す子ども達の参加が叶わなかったことをどう思うか。

答 聖火リレーのルートから外れたと知った時点で、直ちに市長自ら県庁に赴き、再考を求める要望を行った。聖火リレーは、レガシーとして一生心に残る行事であり、本市がこのリレーから外れた事は大変残念である。

問 スカイピアあだたらに建設予定のパークゴルフ場施設について、その後の計画、実施方針

を伺う。

答 現在、県内外における他のパークゴルフ場の整備状況について調査研究を行い、コースの内容、クラブハウス、駐車場などの付帯設備について、慎重に検討を重ねている。



施設建設予定地のスカイピアあだたら



鈴木 一弘

[市政刷新会議]

二本松市が考える観光拠点の在り方は

道路修繕の対応について

問 二本松城跡総合整備事業において整備される「二本松城文化観光施設」はどのように利用をしていくのか。

答 市内の観光地等を「点ではなく線として」紹介するための情報発信機能や、観光客が訪問したい場所に案内できる機能を備えた観光情報の中心拠点施設として位置づけ、観光地・市街地への周遊を促し、滞在時間の延長と市内での消費額の向上を図るとともに、インバウンド誘客促進を強化するため、県立霞ヶ城

公園を舞台とする着地型観光の商品造成を進める。

問 汚染土運搬処理後の道路破損箇所の修繕等の対応はどのように考えているか。

答 相談、要望を受けている箇所については、現在、環境省との協議を進めている箇所もある。10月には環境省との意見交換会が予定されているが、道路補修の考え方が協議事項となっており、協議結果を踏まえながら、必要な修繕は適切に実施していく。

消費税率引き上げへの対策を万全に

「幼児教育・保育の無償化」10月スタート



小林 均

[公明党]

問 プレミアム付き商品券の消費喚起効果は。

答 国では商品券販売額の30%以上の効果があると推計。市内の店舗等300件からの応募があり、地元での消費の促進も期待できる。

問 対象者数と、購入引換券送付の進捗状況は。

答 住民税非課税世帯8,903人、子育て世帯の3歳未満の子供1,090人で、非課税世帯（申請必要）、子育て世帯共に9月中旬発送予定である。

問 軽減税率対応レジ補助金についての問い合わせや相談はどれくらいあったのか。

答 8月末現在434件の問い合わせがあった。

問 10月からの幼保無償化への手続きが必要な世帯と市民へのスムーズな広報について伺う。

答 申請手続きが必要と想定される保護者には、現在利用中の施設を通し申請書等の配布・回収を行うと共に、市ウェブサイト、「広報にほんまつ」に記事を掲載し、広報を行っている。

問 第2子以降保育料無料は今後も継続されるか。

答 国の無償化適用後に、なおも無償とされない課税世帯の0～2歳の助成を、10月以降も継続する。



小野 利美

[市政会]

高齢者世帯等の支援の状況は

店舗等施設整備補助金の利用状況と課題は

- 問** 地域別の75歳以上の高齢者のみの世帯数は。
答 7月31日現在、二本松地域が1,467世帯、安達地域が396世帯、岩代地域が314世帯、東和地域が359世帯である。
- 問** 買い物等の支援はあるのか。
答 介護保険の要介護認定を受けている方、また、介護保険の認定に至らない方でも、日常生活において援助が必要な概ね65歳以上の一人暮らし高齢者を対象に、買い物が困難な方に代わり買い物支援を行っている。

- 問** 補助金の複数回等の利用状況は。
答 平成30年度は、新規採択が24件、補助金額で790万円、2回目が18件、補助金額で652万6千円、3回目が9件、補助金額で305万9千円であった。
- 問** 補助金額を含め今後の課題は。
答 アンケート調査では「現行の制度で継続すべき」が92%を占め、「見直す点は何か」との問いには、補助金上限額の引き上げ等の意見があった。今後は事業のあり方等を含め検討する。

保育士の確保と待機児童の状況は

生活保護受給者の高齢化の現状は



熊田 義春

[市政会]

- 問** 保育士は足りているのか。
答 現在、市立の保育所、認定こども園において、補助職員として、4施設でフルタイム5名、1施設でパートタイム1名についてハローワークを通じて募集しているところで、こうした面では、充足している状況にはない。
- 問** 待機児童の人数は。
答 8月1日現在で41人であり、年齢別内訳は、0歳児14人、1歳児18人、2歳児7人、3歳児2人であり、6月1日と比較して11人減少

- したのは、新設保育所が8月から受け入れを開始したことが大きな要因である。
- 問** 生活保護受給者の年代別人数は。
答 8月1日現在418人で、年代別では20代55人、30代23人、40代44人、50代76人、60代93人、70代68人、80代44人、90代15人で、生活保護制度では65歳以上を高齢者と位置付けており、人数は176人で全体の42%である。高齢者のみの世帯は141世帯で、そのうち単身世帯は134世帯である。



野地 久夫

[市政刷新会議]

市長の政治姿勢・政策プロセス (高平工業団地構想について) を問う

- 問** 高平工業団地構想はあるのか。
答 **部長** 現在は無いが長命工業団地の状況を鑑み、市内全体を見据え次の段階で考える。
- 問** 市長は市長選挙で高平工業団地事業を進めると地権者に話され、地権者の皆さんは用地を売却できるものと思っているが、地権者から工業団地用地として買収する考えはあるのか。
答 **市長** 個別の案件は申し上げられない。
- 問** 高平工業団地事業に約2億4千万を越す大変な金を投入した。実を結ばないムダ金と思う。

- あってはならないことである。この無駄金の考えは。またその責任は。
- 答** **部長** 2億5千万近く金がかかっていた。基本計画、不動産鑑定、測量、基本設計の初期投資で、事業を進める必要経費であった。
- 問** 結果の出ない事業に使われた、約2億4千万のムダ金の責任について市長の考えは。
答 **市長** 先の所管部長答弁のとおりです。
- 問** 市長にこれ以上質問しても無理と判断します。終わります。

保育料無償化と副食費無料化の支給方法は 加齢性難聴が認知症の危険因子との認識は



平 敏子

[日本共産党二本松市議団]

問 10月からの国の保育料無償化と市独自の副食（おかず）費の支給の方法は。

答 新制度に移行している幼稚園、保育所、認定こども園に通う3歳から5歳児は現物給付、移行していない幼稚園や認可外保育施設等は、現物給付と償還払いが選択できる。

問 今後の待機児童解消のための方策は。

答 私立の保育所等整備には、引き続き国・県の補助金等を活用し、新設・増設等支援していく。市独自では、3歳未満児定員拡大のための施設改修費

や備品購入費を事業者へ一人当たり10万円補助することで、受入枠の拡大に努めたい。

問 加齢性難聴が認知症の重要な危険因子との認識は。認知症の要因の一つと認識している。

答 難聴により脳に入る情報が少なくなることが脳の機能低下につながり、うつ病や認知症につながる。介護予防の観点から加齢性難聴者への補聴器補助はできないか。

答 市の単独支給制度もあり、周知に努めたい。



菅野 明

[日本共産党二本松市議団]

冠木地内の大規模小売店舗出店計画は 大規模風力発電事業計画は

問 現在の進捗状況はどうなっているか。

答 県商業まちづくりの推進条例の規定に基づき、開発業者から特定小売商業施設「メガステージ二本松」の新設届出が本年3月に提出され、現在、県の審議会において意見を取りまとめているとのこと。

問 旧市内の商店街や市内商工団体の対応について、市はどう把握しているか。

答 二本松商工会議所では会員に開発概要の説明も

行ったが、特に意見等はなかった。あだたら商工会も概要の報告をしたところ、特に意見等はなかった。中心市街地の各商店街は、特に対応していないとのこと。

問 本市に係わる大規模風力発電事業は、現在いくつ計画があるのか。

答 環境影響評価、いわゆる環境アセスメント手続きの中で県から通知があったものについて、本年8月末時点で本市に係わる計画1件、近接する区域での計画2件、合計3件となっている。

生活道路の舗装状況と市道の認定は 市税と税外収入の滞納額とその特徴は



斎藤 広二

[日本共産党二本松市議団]

問 幹線道路である1級・2級市道及びその他の市道の生活道路の舗装率と今後の方針は。

答 幹線道路は、ほぼ100%。家屋に通ずる生活道路の舗装計画は194路線、延長35.2kmに対して22.8kmが完了で舗装率64.8%。令和2年には目標である70.7%達成見込み。市道認定の要件は国・県・市道のいずれかに接続し、概ね5戸以上の住宅地を連絡する道路等の基準を審査し、議会の議決を受けて認定する。

問 市税等の滞納額の特徴と差し押さえ実人数と

金額及び総合的な相談窓口の設置は。

答 市民税、固定資産税、軽自動車税、入湯税合計で7億1,669万円、うち77.9%が固定資産税で、借入金の返済が優先されている例が多い。税外収入では住宅使用料2,804万円、学校給食費564万円、保育料420万円、認定こども園108万円等である。市税及び国保税の差し押さえ実人数は298人で滞納額15億3,565万円のうち徴収額は3,266万円。総合的な相談窓口対応については、今後の研究課題とする。

賛否一覽

(これ以外の案件等は全会一致で可決されました。)

番号	件名	議決結果	市政刷新会議					真誠会				市政会		日本共産党 二本松市議団		会派に 属さない議員					賛 成	反 対				
			野地 久夫	佐藤 運喜	鈴木 一弘	斎藤 徹	平栗 征雄	佐藤 源市	平塚 與志一	佐久間 好夫	佐藤 有	坂本 和広	堀籠 新一	安齋 政保	小野 利美	熊田 義春	斎藤 広二	菅野 明	平 敏子	石井 馨			加藤 建也	本多 俊昭	小林 均	本多 勝実
議案第64号	平成30年度二本松市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	●	○	○	○	○	○	○	18	3
議案第81号	二本松市森林環境整備基金条例制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	18	3
請願第7号	「ふくしま学力調査」中止の意見書提出を求める請願書	不採択	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3	18

※○は賛成、●は反対、退は退席。 ※議長（本多勝実）は採決に加わっていません。

9月定例会 討論

討論は、表決の前に議題となっている案件に対し、賛成・反対の意見を表明することをいいます。

議案第64号平成30年度二本松市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について

反対

菅野 明 議員

平成30年度介護保険料の基準額は、給付費準備基金6,800万円余りを取り崩してもなお、第5段階では現行より年間1万800円、17%の値上げで、年額7万4,400円となり、65歳以上の第1号被保険者の負担割合も1%増えた。

介護保険料値上げの要因は、高齢者の増加に反し、国が社会保障費の自然増分の予算を削減し続けてきたことが最たるものである。介護予算に占める国の負担割合の抜本的な見直しが求められており、避けては通れない。よって、現行の介護保険制度での平成30年度決算の認定に反対する。

議案第81号二本松市森林環境整備基金条例制定について

反対

斎藤 広二 議員

大震災後に創設された復興特別税で、1人1,000円を上乗せしている個人住民税均等割を、森林環境税と看板を変えて継続するもの。

所得税納税者は所得税額に25年間2.1%上乗せされているが、法人は2年で廃止され、森林環境税でも大企業の抵抗で負担を免れた。

福島県では既に森林環境税が徴収され、市民の負担は2,800万円です重課税となる。また、税の配分では、人口割が3割のため、森林の少ない大都市ほど譲与額が大きくなり矛盾が生じることから、反対する。

請願第7号「ふくしま学力調査」中止の意見書提出を求める請願書

賛成

平 敏子 議員

全国的に見ても複数県で独自の学力テストを廃止している。理由は児童・生徒と教職員の多忙化のためである。

全国学力テストで毎年最上位の福井県では、教師の激しい叱責を受けた中学生が自殺するという痛ましい出来事をきっかけに、県議会が「見直しを求める意見書」を採択している。

全国学力テストの経費は毎年50億円以上だが、教育現場では教員の定数増が求められている。一人ひとりの子どもに教師の目が行き届き、創意あふれる授業こそ確かな学力を保障することであり、「ふくしま学力調査」の中止に賛成する。

反対

佐藤 源市 議員

請願の趣旨は、今年4月に、福島県教育委員会が今年度から実施する、小学校4年生から中学校2年生までを対象とした「ふくしま学力調査」を実施したことについて、教職員の労働環境改善を課題とするものである。

今回は実施時期が年度始めや学校行事と重なったこともあり、時期を変え継続すれば、児童・生徒の学力向上へ大きく繋がるものと考えられることから、今後も年間行事として実施すべきであり、請願に反対する。

皆さまからの

ご意見・ご要望を市に提出しました

議会報告会で市民の皆さまから寄せられたご意見・ご要望のうち、市長に伝える内容をまとめ、9月3日に議長・副議長が市長に直接提出し、内容を検討されるよう要望しました。今回は、それらの内容をお知らせします。

市長に提出した意見・要望

【地域振興】

1. 渋川の発展は道路の問題、また、長谷堂、切通の両側を住宅地にしてはどうか。住宅地があれば発展の余地はある。
2. 今年度事業に岩代地区の事業がない。特に長命工業団地は大玉、本宮に近く交通の便はいいが、大玉に家を作って通勤するようなことになる。岩代地区から言えば、阿武隈川の東側に造成すれば活性化になるのではないか。
3. JICAの卒業生は世界に向けて活躍しており、さらに、集落支援員等の役割を担ってもらうなど、二本松市のために活躍できる環境づくりをして欲しい。

【人口減少対策】

4. 二本松市も油井地区には集中して人口が増えている。均衡ある発展のために、渋川地区に安達駅に行ける道路を整備するとか、住宅地を集団的に整備すれば、渋川小学校の児童も増える。

【震災復興】

5. 仮設焼却炉が試験稼働したそうだが、地元住民には何の情報もない。搬入するルートも変更になったが知らされていない。不安である。安全であるならば現場見学会をするなどの対応をしてほしい。

【農業振興】

6. 農業振興地域になっているが、現在は農業をやっていない。死んでいる土地が多い。有効活用できないか。

【観光振興】

7. 外国人観光客に対しての案内が英語だけでは足りないのではいか。多言語化が必要である。

【道路整備・河川整備】

8. 農業共済組合の前の道路と市役所の前道路の白線が消えている。
9. 雪の際に大変なので、岳下・杉田の通学路の整備を2～3年のうちにしてほしい。杉田の踏切を何とかして欲しい。
10. 道路管理で道路に8割くらい立木がかぶさっているところは、何とかしなくてはならないのでは。
11. カントリーパーク周辺の道路は小中学生、こども園の送迎で混雑する。拡幅や側溝にグレーチングをかけるなどの工夫をしてほしいと前回の議会報告会時に要望したが、対応は。
12. 高林寺の下の道路（市道若宮伏返線）の喜六田地内のS字カーブを取って、東側に改良してほしい。
13. 油井川の管理（草刈り）について、どうなっているのか。



皆さまからのご意見・ご要望を市長に提出しました

【教育文化振興】

14. 安達高校の件、人口が減って定員に満たない。福島市の高校に行ってしまう。普通科だけでは無理、JICAの訓練所があるのだから、国際協力科など魅力のある学科があるといいのでは。
15. 安達東高校が統合によりなくなる。岩代から高校がなくなる。残してほしい。
16. 東和中学校とカントリーパークの間の階段がぼろぼろで大変危険な状態になっていて改修が必要である。

【体育振興】

17. ①パークゴルフ場整備事業調査費に1,000万円計上してある。日山にもあるが、スカイピアにできたとしても標高が変わらず、冬場ができない。パークゴルフをする人は年配の人が多くなっているので、市の中心地で冬季もプレーできる立地での検討も必要ではないか。
- ②パークゴルフ場の整備がスカイピアに計画されている。日山にもあるが、通年利用できる中心地に死んでいる土地がたくさんある。そういう土地を利用せよ。
- ③パークゴルフ場をスカイピアの場所に計画しているが、通年利用できる場所に設置できるように、パークゴルフ協会を含めて協議のうえ、場所の選定をしてほしい。

【行財政運営】

18. 75歳以上の高齢者の公共交通機関無料化は高齢ドライバーにとって大変嬉しい施策として歓迎するが、市の予算配分として若者への予算措置の必要性も重要に思う。高齢者も若者も共に住みよい二本松となるような財政運営をお願いしたい。
19. 市の事業は地域的に偏りがある。岩代、東和の方に予算を振り分けるようなバランスのとれた予算の取り方をしてほしい。

【公共交通】

20. 公共交通無料化の現状はどうなっているのか。バス停まで行くのが大変である。(車で行かなければならない。) そういう現実をよく見て、いい方向に進めていただきたい。

【その他】

21. 市の事業で健康づくりのサロン事業、公共施設(公民館等)を使用する場合使用料がかかる。無料にすべきでは。

議会報告会

議会で検討・対応していくもの

議会報告会での議会に対してのご意見等については、その対応方針について検討をおこないました。それらの内容の一部をお知らせします。

意見 議会報告会の説明、議会だよりは全戸配布されているので、重点施策を中心に説明し、これを地元にもどう反映させるかという話をした方が、有意義になるのではないかと。

対応 ご意見として参考にさせていただきます。次回の議会報告会開催に向け、その開催方法等について議会運営委員会等で検討してまいります。

意見 昨年度の議会報告会の議会で検討・対応していくものを十分に審議、議論してほしい。人口減少対策について、議会で十分に検討したのか。

対応 人口減少対策については、全国的な問題であり、重要課題であると認識しています。本年度子育て支援、定住促進事業等人口減少対策について、議会として十分に議論・審議し決定したものです。引き続き、重要課題として取り組んでまいります。

(次頁へ続きます)

意見 報告会を年4回行うのかの検討結果は。

対応 実施要領により当初予算を審議する定例会または決算認定を審議する定例会終了後に開催し、原則年一回開催としています。準備、周知、とりまとめ等、相当の期間を要するため、今後も年一回の開催といたします。

意見 過疎化、少子高齢化が進み、買い物できない、高齢者が運転もできない。そういう状況になってくると生活もできない、若者も住まない状況になる。議会でも十分検討してほしい。

対応 過疎対策については、令和3年3月末をもって失効する「過疎地域自立促進特別措置法」について、新たな過疎対策法を制定するよう関係機関に対し意見書を提出しました。



第3回議会報告会の様子

意見 安達東高校が統廃合されると過疎化がますます加速する。魅力ある高校にすれば子どもは集まる。議会から県に請願書を提出してほしい。

対応 安達地方市町村議会議長会の県等への要望事項について、二本松市議会の要望として「県立安達東高等学校の存続について」を提出しました。

意見 地域住民との意見交換を密にしてほしい。

意見 市民の声が議会を通じて行政に反映するようなシステムにしてほしい。

対応 地域住民との意見交換をする場として議会報告会を開催しています。積極的に参加をお願いします。

議会報告会では出された意見については市に提出しております。また、議会の一般質問でも取り上げられております。

意見 議会だよりは、元号のみの表記で分かりづらい。西暦と併記してほしいか。

対応 基本的には元号表記としますが、西暦の併記について編集委員会で検討します。

お知らせ

次回の定例会は12月上旬に開会の予定です。本会議は、当日住所と名前を記入するだけで傍聴できます。市役所6階の議場・傍聴者入口から案内しています。皆さまお気軽に傍聴においでください。

市議会だより、または、当市議会に対するご意見ご感想をお寄せください。

市議会だより編集委員会

〒964-8601 二本松市金色403番地1

TEL 55-5143 (議会事務局)

FAX 22-6047

E-mail gikaisomu@city.nihonmatsu.lg.jp



今月の表紙



いわしろさくらこども園運動会



いわしろさくらこども園の運動会は9月21日に行われ、0歳児から5歳児までの33名の園児が参加しました。今年のテーマは「おばけランドの運動会」。なんと、こども園におばけから手紙が届いたのです。こども達は、いわしろさくらこども園を守るために、元気いっぱい園庭を駆けまわりました。

編集後記

9月定例会において、平成30年度の各会計決算を決算審査特別委員会にて、審査・認定いたしました。各分科会審査(詳細審査)も今号に掲載しております。現況の二本松市の決算をご理解いただける内容となっております。

さて、各地域の秋祭りも終わり、安達太良の峰も色づき秋も深まって参りました。霞ヶ城公園では、第65回を数える『二本松の菊人形』が盛会に開催されており、市民のみならず多くの観光客に楽しんでいただいております。また本年は、大山忠作美術館開館10周年特別企画展『新五星山展』も開催されておりますので、芸術の秋を感じていただければと思います。



編集委員会
委員長
副委員長
委員

佐藤 運喜
石井 馨
平井 敏子
佐久間 好夫
斎藤 徹
坂本 和広